



田村市立都路中学校 学校だより 第11号

令和6年6月24日（月）
発行責任者：校長 佐藤 仁
TEL：0247-75-2009

めざす生徒像：自らの志を語り、目標に向かって主体的に努力できる生徒

めざす学校像：志を育む学校 学び合い、高め合う学校 信頼され、愛される学校

中学校卒業後の進路実現のために

先日の朝刊の投稿欄に本県高校3年生の女子生徒が高校3年生としての決意や目標を綴っていました。学校生活をどう送ればよいか、示唆に富む表現が多いです。

「部活動も勉学も全力で励む」

高校3年生になった。これまでの自分の高校生活を振り返ると部活動に力を注いできた。生徒のほぼ全員が一度は「学生の本業は部活動だけではなく勉学だ」と言われたことがあるだろう。

その時は、いずれ何とかなると思って聞き流してしまう。しかし勉学をおろそかにしていると、いざ進路を選ぼうにも選択肢はかなり狭くなる。進みたい道に進むことがとても厳しくなってしまう。

まだ高校生になったばかりの人や部活動と勉強の頑張りにかたよりのある人に伝えたい。進路の幅を狭くしてしまうと将来自分の希望する職に就けなくなってしまう。今やれることを全力でやってほしいと思う。

今、楽な道を選んでしまうと将来必ず苦勞すると思う。将来の自分への投資だと思って勉学にも部活動とおなじくらい励むことが大切だと思う。

「今やれることを全力でやる」、「楽な道を選べば将来必ず苦勞する」、「将来の自分への投資」など、印象的なことばが多いです。数年前に死去した祖母は、よく「若い時の苦勞は買ってでもしなさい」と言っていました。私自身、祖母の言葉通りにがんばれたかどうかはわかりません。大正生まれで戦中・戦後の困難な時代を生き抜いた祖母は簡単には認めてくれないと思います。



明日は今年度1回目の定期テスト。1年生にとっては初めての定期テストです。支部中体連大会や県中地区中体連大会と忙しい日々が続きました。そんな中で勉強も全力で取り組むことができたでしょうか。明日のテストでは、これまでのがんばりや取り組みの結果が数字として評価されます。やることはすべてやったと言える人も、自分に言い訳をして楽な道を選んでしまったという人も、定期テストに向けた取り組みをしっかりと反省し、今後の生活に生かしてほしいと思います。

次は私の主観です。

世の中で一番公平・公正なものは時間。1日24時間、誰にでも公平に与えられている。誰にでも公平に時を刻む。そんな時間も若い時と大人になってからのそれとでは密度が違う、濃度が違う。若い時の時間（青春時代と言ってもよいが）は圧倒的に濃い。

たんとと過ぎていく時間を無駄にせず、将来の自分への投資だと思って、中学生としてやるべきこと、やりたいことに全力で取り組み、濃い時間を過ごしてほしいと思います。